

## 岡山市公共交通網形成協議会 第2回幹事会 発言要旨

日時：平成31年1月10日（木）15:00～

場所：勤労社福祉センター5階会議室

### 質疑応答

#### 議事1 目標達成に向けて検討する施策について

##### (1) 公共交通事業者からの提案 (1/2)

組織名	質問・意見
西日本旅客鉄道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性やサービスを事業経営として持続的に提供しようと考えている。鉄道は高速大量輸送を得意とする一方で費用が大きくかかる。その点で、「誰もが利用しやすい公共交通サービスの提供」と「経営の健全化と安定化」という基本方向については賛同できる。</li> <li>・桃太郎線LRT化の基本計画策定に向けて岡山市、総社市とともに議論を進めているところであるが、ネットワークの再編という点では、幹線を鉄道が担うことができると考えている。このため運行サービスの充実とともに利用環境の向上にも取り組んでいる。</li> <li>・交通結節点の強化やまちづくりに取り組むことで、これらの効果が大きくなると考えている。</li> </ul>
岡山電気軌道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「①事業者が競争する時代から共に路線網を維持する時代へ」、「②公共交通の再生」、「③公共交通網のポリシーと夢」、「④交通連合の実現」の4つについて提案する。</li> <li>・交通連合については、「①事業者間の連携」、「②マイカー政策（流入抑制等）との連携」、「③都市計画との連携」、「④隣接市町との連携」の4つの連携が重要と考えている。</li> <li>・交通連合による運賃統合、バス再編に取り組んでいくことを議論してもらいたい。</li> </ul>
中鉄バス株式会社 (中鉄北部バス株式会社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員を始めとする人手不足に困っている。このため社内での配置転換に取り組んでいるところで、他について考えることが困難な状態。</li> <li>・いわゆる負のスパイラルに陥っており、その打開のためには、乗務員の確保が重要。</li> <li>・収入の増加には限界があり、支出は、燃料費は外的要因によって変動し、人件費は高騰し経費は増えている。</li> </ul>
両備ホールディングス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を達成するためにはどうすれば良いかを考えると、競争から連合が必要で市全体を俯瞰する共同体が必要。</li> </ul>
東備バス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の補助金制度では継続は難しい。運賃は賃率で設定されているが、安い賃率や循環線ということで低い賃率の会社もある。各社、同じ賃率とすべきではないか。</li> <li>・系統は、すべて中心部に入ってくる形態となっているので、過密になっている。これを削減するというのであれば郊外を運行する事業者は影響が大きく、他の設備投資などに手が回らなくなるのではないかと懸念される。</li> <li>・公設民営の方向性を目指して進めてもらいたい。</li> </ul>
備北バス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少、人手不足を踏まえると、利用者目線は当然ながら、バスは最低でも走らせなければならぬためコストがかかる。運賃を上げれば良いというものでもない。</li> <li>・都市部の利便性は良いが、郡部の人達の交通をどう守るのか。岡山市だけの問題ではない。まずは全体で最低限の足の確保を考えるべきであり、そのあとに利便性の確保ではないか。</li> </ul>
下津井電鉄株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性の高い本数とダイヤが求められている。定時性は交通状況によって難しい点もある。バスロケを導入して遅延データも活用し、最適ダイヤを編成している。快適な車両としてバリアフリー車両（ノンステップ・ワンステップ車両）の運用を心懸けている。車内の無料Wi-Fiを実施している。</li> <li>・安定した輸送の確保のため、乗務員となるための大型二種免許取得支援や体験会などに取り組んでいる。</li> <li>・利用者促進としては、市内小学校へのバス乗り方教室や、子供の日、バスの日での子供の無料化を行っており継続して行きたいと考えている。</li> </ul>
八晃運輸株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的に公共交通として、地域の足を確保することは、バス事業者だけでは限界があり、タクシー事業者との連携が必要。</li> <li>・バスはコストが高い、利便性も悪い。全体として、いかに地域の足を守っていくか。都市部と郊外部の格差が広がっていくと思う。タクシーとバスのそれぞれを役割分担させていくのか考える必要がある。</li> </ul>
一般社団法人 岡山県タクシー協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山市では、追川地区などで乗合タクシーを行っており、今後も協力させていただきたい。タクシーは狭い所に入っていけるし、無駄が少ない。</li> <li>・利用環境向上ということでUDタクシーがあるが市内は10数台に留まっており、今回も導入を進めていくが、導入に対する助成をしていただきたい。</li> </ul>

## 岡山市公共交通網形成協議会 第2回幹事会 発言要旨

日時：平成31年1月10日（木）15:00～

場所：勤労社福祉センター5階会議室

組織名	質問・意見
橋本准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人、地域、時間によって、公共交通に対する要望が違ってくる。</li> <li>・各社がこれまで実施してきたことは個別最適で、岡山市の提案は市全体を最適化しようというもの。個別最適と全体最適をどう切り分けていくか、収支の問題もあるので難しくなる。</li> <li>・次の会議でとりまとめて提示してもらいたい。</li> </ul>

### (2) 施策実現性の検証用データの提供について

組織名	質問・意見
橋本准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山市としても、PT 調査などの提供可能なデータを整理していただきたい。</li> <li>・路線ごとの収支については、会社の費用を路線に按分したものはあると思うが、正確さについては留意する必要がある。</li> </ul>
岡山市連合町内会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこのスーパーや病院に行っているのか、人の動きを把握することは大事。住民の動きを把握して、それに基づいて考えないと絵に描いた餅になる。住んでいないとわからない意識もある。それをつかむと利用が増えるのではないか。</li> </ul>

### 議事2 岡山駅東口広場バス乗り場について

組織名	質問・意見
岡山電気軌道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網形成計画は、路線の利用者目線ではなく、市全体の利用者目線で考えるべきではないか。</li> <li>・JRでは総本数を先に決めていて、余裕があるので許可したと認識している。また、許可された本数を各社に割り振った経緯がある。</li> <li>・方面別の方が利用者がわかりやすいということで方面別に現在なっているが、同じ乗り場を各社が共有して使用することはやりにくい。両備バスとでもトラブルはある。</li> <li>・</li> <li>・方面別は良いが、理想は方面別会社別である。</li> </ul>
両備ホールディングス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めぐりんの駅前広場乗り入れは反対である。今以上の路線延長や乗り場の増、安い運賃区間の拡大は、競争を抑制しネットワークを再編するという目的に逆行するものであり、過当競争による影響は大きくネットワークの毀損に繋がる。そうなれば、廃止届を出さざるを得なくなるのが想定される。</li> <li>・乗り場の間に7mのバスを入れるというのは危険であり、納得できない。乗降中に車体を移動させなくてはならないというのは考えられない。</li> <li>・乗り場が少し動く、障害者の誘導位置が変わる。乗り物の位置が毎日変わると大事に至る可能性もあり、施設管理側の責任も出てくると考える。</li> <li>・駅への乗り入れは、益野線の利用者ではなく事業者の希望である。利用者は以前から益野線以外の路線の乗り入れを希望している。要望のない路線を先に入れようとするのはどうか。これが利用者目線か。</li> <li>・発着用バースに時間が定まらない循環線を入れることはできない。バスがどれだけ遅れるのかわからない状況でダイヤを作成したといっても見るに値しない。</li> <li>・バス協会では、バースを増やし、安全環境を整備した上で新規事業者を入れてはと市に意見書を提出している。</li> <li>・バスセンターは、本来5分前に配車するのが前提。施設管理者もその点を考えてもらいたい</li> </ul>
八晃運輸株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山駅になぜバス停があるのか。事業者のためにバスセンターがあるのではなくて利用者のために利便性を確保することが前提で、乗りたいバスに乗れるという選択性が必要。</li> <li>・JR、岡山市は乗り入れに了解していると考えている。10番乗り場の状況を見た上で、具体のダイヤを既にJRには提示している。それを見てどこが問題なのか示してもらいたい。</li> </ul>
岡山市連合町内会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環バスのめぐりんを入れることを検討するのが先ではないか。</li> </ul>
橋本准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性と安全性を確保することは大前提である。乗降中に車体を動かすことは危険。安全を確保するというを第一に再考してもらいたい。</li> </ul>

### 【次回までの検討事項（第2回幹事会の議論を踏まえて）】

- ① 事業者からの提案及び提供データを踏まえた具体施策の検討 <岡山市>
- ② 岡山駅東口へのめぐりん益野線の乗り入れに関する再検討 <岡山市>

## 岡山市公共交通網形成協議会 第2回幹事会 発言要旨

日時：平成31年1月10日（木）15:00～

場所：勤労社福祉センター5階会議室

